

道徳通信

No.1 令和7年 7月14日 安田中学校

1学期が終了します。今年度は1年生が18人と例年より多く、全校生徒37人で多くの行事に活発に取り組むことができました。そんななか3年生が下級生をリードする姿は下級生の目指す姿にもつながっていたのではないのでしょうか。

道徳の授業では、教材を通して自分とは異なる感じ方や考え方に触れることも多かったと思います。皆さんは学校や家庭における日々の生活のなかで、「自分自身」、「人との関わり」、「集団や社会」、「生命や自然、崇高なもの」に関わりながら、そこにあることを見つめ、自分はどうすべきか、どうすることができるかなどを考えながら成長しています。

来学期は、体育大会や音楽会など全校で取り組む行事があります。安田中学校の個人として、集団としてさらに高まっていくことでしょう。夏休みは、生活リズムに気を付けて、計画的に過ごすようにしましょう。

1学期を振り返って

【各学年の道徳授業（教材名）】

*今年度から新しい教科書となり、内容もこれまでと若干変わっています。

1年	2年	3年
・小さな勇氣 ・バスと赤ちゃん ・おかしな礼儀 ・挑戦することに、生きる－羽生結弦 ・ヨシト ・ある日のバッテリーボックス ・魚の涙 ・裏庭での出来事 ・目標は小刻みに ・釣りざおの思い出 ・夜のくだもの屋 ・自分の番 いのちのバトン ・ネット将棋	・自分の人生って ・第二の水泳人生－池江璃花子 ・マイ・フェイバリット・ロード ・ジョイス ・あなたの「生きようとする力」 ・君、想像したことある？ ・消えない落書き ・闇の中の炎 ・樹齢七千年の杉－屋久島 ・いつでも・どこでも・SNS ・ほどほどライオン ・相馬野馬追の季節 ・加奈子の職場体験	・自分と向き合う ・夢へのステッパー大谷翔平 ・おひだまり ・十五分後の奇跡 ・挨拶の力 ・ライバル ・卒業文集最後の二行 ・君たちはどう考え、どう生きるか ・六万円のご縁 ・監督がくれたメダル原稿 ・ピヨ子 ・リアルとネットの不思議 ・海と空－檜野の人々

全学年共通教材「高知のことについて知ろう」

「ジョン万次郎」 ～ 冊子『高知の道徳』より ～

『高知の道徳』では、高知の偉人がたくさん紹介されています。少しでも高知に関することを知り、お家の人と会話する機会になればと思い、全学年で取り組んでみました。みんなの感想とご家族の方々からの「一言感想」を掲載します。さまざまな捉え方に触れてみてください

【生徒の感想】＊一部抜粋

- ・野球で成績を残した有名人だと思っていたけど、歴史に残るすごい偉人が高知にもいるのだと分かりました。
- ・あまり知らなかったけど、日本人で初めてアメリカに渡り、副船長に選ばれているので、すごさや努力に感心しました。
- ・家族と離れてもめげずに努力し続ける万次郎さんの姿勢を見習いたいです。
- ・外国の知識を取り入れることはことは国の発展につながるのだと改めて知ることができた。
- ・万次郎さんを見習って何事もあきらめず、努力していける人になりたいです。
- ・西洋の文化に触れることのなかった時代に、アメリカで一人暮らすことになったら不安で、自分ならすぐに日本に帰りたいと思うけど、新しい場に興味を持つことには共感できます。
- ・漂流したのに生き延びたのも、仲間からの人望が厚かったのも、彼がまじめで努力家だったからだと思いました。行いや人柄は大切だとあらためて思いまいた。
- ・人の役に立つことでいいことがあることが分かったので、これからは人の役に立つことをしていきたいと思いました。
- ・現地で勉強して現地の人とコミュニケーションをとって仲良くなっていたので、自分もコミュニケーション力をみがいていきたい。
- ・英語もすごく勉強していた熱心なところや我慢強いところを真似していきたい。
- ・たくさんの困難がありながらも、それを努力で乗り越えて成果を出すことができたのでかっこいいと感じた。
- ・夢をいだいて最後まであきらめずにがんばれば夢がかなうということが分かったから、自分もがんばりたいと思った。
- ・自分だったら不安でさびしくて万次郎のように前向きになれないかもしれません。でも、困難な状況でもあきらめない姿勢を見習いたかったです。
- ・中浜万次郎は日本のためにいろいろしてくれたことが分かった。
- ・いろんなことに挑戦して努力をし続けてがんばっていた人だった。
- ・「アメリカ人の生活にとけ込もう」と思うのは簡単だけど「とけ込むためには何をすればいいのかを考えて実際に行動に移すというのは簡単なことでない。でも、万次郎さんはとけ込むために寝る間も惜しんで英語を勉強していた。自分も思ったことをしっかり行動で表すことができる人になりたい。

*裏面へ

【家族からの一言感想】

・どんな状況でも置かれた場所で最大限に活躍するそのポジティブな精神力がすごい！！逆境でも落ち込まず周りとコミュニケーションをとっていくのが未来を切り開くカギだと思いました。

・時代や環境が変化するなかであっても、常に仲間を大切にし、協調性を心がけることが大切です。又、自分の夢をかなえるためには一日一日を大切に過ごし、自ら考える力を身につけてもらいたいです。

・決してあきらめない強い気持ちを持った努力の塊の人物です。

・ジョン万次郎を知っていたが何をした人？今回改めて調べました。幕末の土佐の漁師！！のち英語学者。アメリカへ初めて渡米した人。びっくりしました。

・ビビル大木がものまねをしてる。アメリカに初めて下りた人。

・坂本龍馬よりもアメリカと関わっていると思います。

・中浜万次郎について改めて知ることができて勉強になりました。高知県出身の人が、世界中で活躍していたことが分かり、誇りに思いました。

・名前は知っていたが、くわしくは知らなかった。江戸時代末期から明治時代にかけて活躍した日本の武士、通訳、翻訳家、教育家。勉強になりました。

・NHK「龍馬伝」でトータス松本がジョン万次郎役で出演していましたが、あまりくわしくは知らなかったので、今回高知の道德の記事を読んで、ジョン万次郎の名前の由来や、とても賢くパワーのある人だと知ることができました。

・たくましい人。あきらめない心を持っている。

・15歳という若さで今では考えられないくらいの経験をしている。怖くてつらい状況でもまじめに勉強したり働いたりする精神の強さに改めてすごい人だったんだなと思った。

・中浜万次郎は日本のためにがんばったんだなと思った。

・江戸時代～明治時代にかけて通訳や教育家としても日本で活躍した人物なんだよという話をしました。

・好奇心があり、まじめな努力家。

・舟に乗ってアメリカへ行った人やろ？という話をした。

・高知県からこんな偉人が出たことがほこらしい。これからも高知県から偉人が出てきてほしい。

・努力することは大切です。

・万次郎は15歳の時、漁に出て遭難…運良くアメリカの補鯨船に助けられて、アメリカに渡り、船長だったホイットフィールドさんにたいへんお世話になり勉強にはげんだ。特に英語を身につけて、日本に帰ってからも辛いことのたくさんあったが幕府の通訳の仕事を与えられて活躍しました。

・すごく我慢強いなって思った。〇〇もそうなるようにがんばれ！！

・まじめで好奇心が強く行動力がある。目標を持って行動している。

・自分の夢を貫くということは、並大抵の努力では成せないですね。何年先、何十年先の自分のビジョンを持つことが大切。また、それを支えてくれる人々が居ることを忘れずに。〇〇さんも思う存分、夢に向かってください。応援しています！

・高知県に住んでいるとジョン万次郎(ジョン万)という名前はよく耳にしていたましたが、どんなことをしたのか、どんな人物だったのかは記憶になかったです。改めて知ると、すごく野心家な人物だなと思いました。漂流しても仲間を励まし、アメリカの船に助けられた後もコミュニケーションを取ろうと英語を勉強したりとそんな状況で気力など落とさずにすごいと思いました。やはり名だたる人はその人にしかない何かを持っていますね。

・アメリカの文化を日本に伝えた人。漂流した人。

・なんかすごいね。

・運が良かったこともあるが、あれほど異国の文化に触れることができるのはすごいと思う。

・学生時代に名前を聞いて知ってはいましたが、どういうことをしたのかまでは知りませんでした。とても真面目で努力家のジョン万次郎、小さな一歩が大きく世界へはばたくまでなせたのはとても勇気があることで、改めてすごい方だと思いました。大小関係なく夢を持って生きるということは、いつかとても大きなパワーとなりうるかもしれませんね。あきらめない心を持ち続けたいです。

・子どもはジョン万次郎を知りませんでした。個人的に坂本竜馬より外国との懸け橋になった人物だと思えます。

・中浜万次郎について改めて知ることができて勉強になりました。高知県出身の人が、世界で活躍していたことが分かり、誇りに思いました。

・自分の使命を全うしようとした強い意志を持ったすごい人だと思う。

・知らなかった部分も知れてとても勉強になりました。

ご家族の皆様へ

たくさんのご感想ありがとうございました。

ご家庭で「高知の偉人」について話す機会になったようで良かったです。
来学期もよろしくお願いします。